

伊藤若冲筆「売茶翁像」
(個人蔵、部分図)



伊藤若冲筆「雪梅雄鶏図」(兩足院蔵、部分図)※前期展示

若冲に影響をあたえた
「^{ばい さ おう}売茶翁」って何者——？

売茶翁生誕350年特別展

売茶翁と若冲

No Baisao,
No Jakuchu.

2025
10.7 TUE ~ 11.24 MON
佐賀県立美術館 2・3・4 号展示室

会期中一部展示替えがあります [前期] 10月7日(火)~10月26日(日) [後期] 10月28日(火)~11月24日(月・振休)

休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌火曜日が休館) 開館時間/9:30~18:00

観覧料/一般 1,500円(1,200円)高校生以下、障害者手帳又は指定難病医療受給者証の所持者とその介助者1名は無料
※()は前売、割引料金。割引対象:20名以上の団体、博・美メール会員、学生証(大学・専門学校等)提示の学生に適用。

展覧会HP



主催/売茶翁と若冲展実行委員会(佐賀県、佐賀市、佐賀新聞社、サガテレビ、NPO法人高遊外売茶翁顕彰会)

助成/一般財団法人 地域創造 後援/NHK佐賀放送局、NBCラジオ、エフエム佐賀、FBS福岡放送、KBC、RKB毎日放送、テレビ西日本、テレQ、共同通信社佐賀支局、(株)時事通信社佐賀支局、西日本新聞社、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社

会場
美術館ホール

関連イベント

※先着としているイベントは予約不要です

売茶翁が絶賛した若冲の技に迫る
~水墨画パフォーマンス 先着300名様まで

10/11(土) 13:30~15:00 参加無料

講師:岡原闘鶴氏
南宗画士・NHKドラマ「ライジング若冲」の若冲の絵を制作

講師:村田隆志氏
大阪国際大学国際教養学部教授

献茶式 先着200名様まで

10/12(日) 10:30~11:30 参加無料

柴山高縁氏 高遊外売茶流煎茶 宗家

記念講演会 先着300名様まで

10/25(土) 13:30~15:00 参加無料

講師:狩野博幸氏
京都国立博物館名誉館員・同志社大学文化情報学部教授等歴任

博物館・美術館セミナー① 先着200名様まで

11/1(土) 13:30~15:00 参加無料

テーマ「売茶翁の生き方」

講師:福井尚寿 佐賀県立美術館長

2階画廊 博物館・美術館セミナー② 先着30名様まで

11/15(土) 13:30~15:00 参加無料

テーマ「それぞれの売茶翁像」

講師:安東慶子 佐賀県立美術館学芸員

展示室

ギャラリートーク ※展覧会チケットが必要

学芸員が見どころを解説します
(会期中に複数回開催予定、1回30分程度)

SAGA GAYA MUSEUM ※展覧会チケットが必要
(静かにしないでよい鑑賞時間)

10/18(土)、19(日)、11/1(土)

茶室「清恵庵」

煎茶会 ※茶券有料 当日受付

10/13(月・祝) 藤陰流
11/3(月・祝) 日本礼道小笠原流
11/8(土) 賣茶流

各日受付 10:00~15:00 (50名程度)
煎茶会についての問い合わせは
TEL 0952-24-3947(佐賀県立美術館)まで

サテライト会場

「肥前通仙亭」

「肥前通仙亭」では、本展との
タイアップで、南宗画士・岡原
闘鶴氏の作品や、展覧会にて
展示していない売茶翁の書の展示の他、煎茶体験など
様々な企画を予定しております。



所在地/佐賀市松原4-6-18

営業時間/9:00~17:00

定休日/月曜日(祝日の場合翌日)

入館料/無料

問い合わせ/0952-65-2152

https://kouyugaibaisao.com/



■展覧会についての問い合わせ

佐賀県立美術館 〒840-0041 佐賀市城内1-15-23
TEL 0952-24-3947

売茶翁と若沖の関連作品約**130**点が佐賀に集結!!



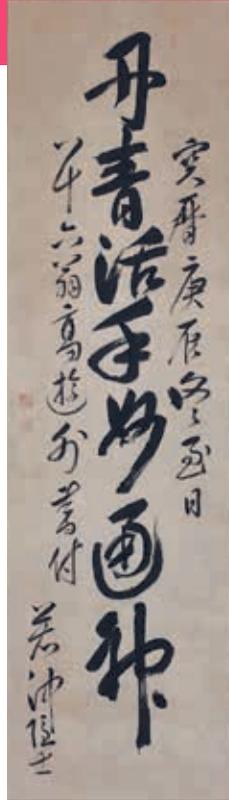
売茶翁なくして若沖なし

佐賀藩の支藩・蓮池藩に生まれ、煎茶を世に広めたとされる売茶翁。代表作・動植綵絵をはじめ、生涯を通じて多くの作品を残した画家・伊藤若沖。同じ時代を生きた二人の間には深い交流がありました。売茶翁生誕350年に合わせて生まれ故郷佐賀で開催する今回の特別展では、売茶翁と若沖の関連作を中心に約130点を展示。九州最大規模の若沖作品をそろえるほか、売茶翁から影響を受けたとされる池大雅や田能村竹田などの作品も紹介します。

「売茶翁とはいったい何者なのか」
「なぜそこまで人を惹きつけるのか」
若沖との交流にスポットを当てながら、売茶翁を解明します。



伊藤若沖作・売茶翁賛「鬮籠図」(宝蔵寺蔵)※前期展示
若沖と売茶翁との合作の一つ。暗闇に浮かぶリアルなドクロに売茶翁の賛文が添えられる。



売茶翁筆「一行書」
(国[皇居三の丸尚蔵館蔵])
※前期展示
動植綵絵を絶賛した売茶翁が若沖に贈った書



「仙窠」(模造品)
(佐賀県立博物館蔵)
自分の死期を感じた晩年の売茶翁は、茶道具の行く末を案じ燃やしてしまったとの逸話も



茶旗「清風」
(個人蔵)※後期展示
売茶翁が茶席「通仙亭」で掲げていた旗

ばい き おう
売茶翁(1675~1763)
佐賀藩の支藩・蓮池藩に生まれる。出家して各地で修行をする中、従来の僧侶の在り方に疑問を感じるように、61歳(1735年)ごろ、京都で茶席「通仙亭」を開き煎茶をふるまう。その姿に共鳴するように、売茶翁の元には画家・書家・儒学者といった知識人・文化人たちが集い、交流を深めていった。

いとうじゆくちゆう
伊藤若沖(1716~1800)
京都の錦市場の青物問屋「樹源」の長男として生まれる。1758年から生涯の代表作となる《動植綵絵》の制作をはじめた。「動植綵絵」の制作中の1760年に敬慕していた売茶翁から一行書を贈られ、感激したと伝えられている。「若沖」という号も売茶翁愛用の「注子(水差し)」に書かれた「大盈若沖」から取ったと言われている。

若沖のあの代表作も!! /
どうしよくさいえ
「動植綵絵」複製品30幅、一挙公開!

原画: 伊藤若沖筆「動植綵絵」(国[皇居三の丸尚蔵館蔵])30幅の内3幅)

写真撮影OK
売茶翁が称賛した若沖の代表作「動植綵絵」の複製品が勢ぞろい! 会場での撮影もOK! 是非会場にてご堪能ください!



伊藤若沖作
「鸚鵡図(花鳥図版)」
(平木浮世絵財団蔵、部分図)
※後期展示

伊藤若沖筆
かそねほんず
「果蔬涅槃図」
(京都国立博物館蔵)
重要文化財 ※後期展示



伊藤若沖筆「石灯籠図屏風」(京都国立博物館蔵)※後期展示



観覧料 高校生以下無料 一般(当日)1,500円 (前売)1,200円
※障害者手帳又は指定難病医療受給者証の所持者とその介助者1名は無料
※20名以上の団体、博・美メール会員、学生証(大学・専門学校等)提示の学生は前売料金1,200円で観覧できます
前売券販売所 佐賀県立美術館、佐賀新聞社、佐賀新聞販売店、サガテレビ、肥前通仙亭、イオンモール佐賀大和、佐賀玉屋南館、ゆめタウン佐賀、各プレイガイド(ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケット、イープラス)
※前売券の販売期間は8月25日(月)~10月6日(月)まで